

ICTを駆使した最先端の細胞診教育拠点 畿央大学臨床細胞学研修センター Kio University Cytology Training Center (CTC)

阪急「大阪梅田」駅から徒歩3分。大阪の中心に位置する最高の立地条件。

大阪メトロ「中津」駅から徒歩1分、阪急「大阪梅田」駅茶屋町口から徒歩3分という
絶好のロケーション。通いやすく、学びやすい学習環境。

働きながら細胞検査士資格をめざせます！

併設講座

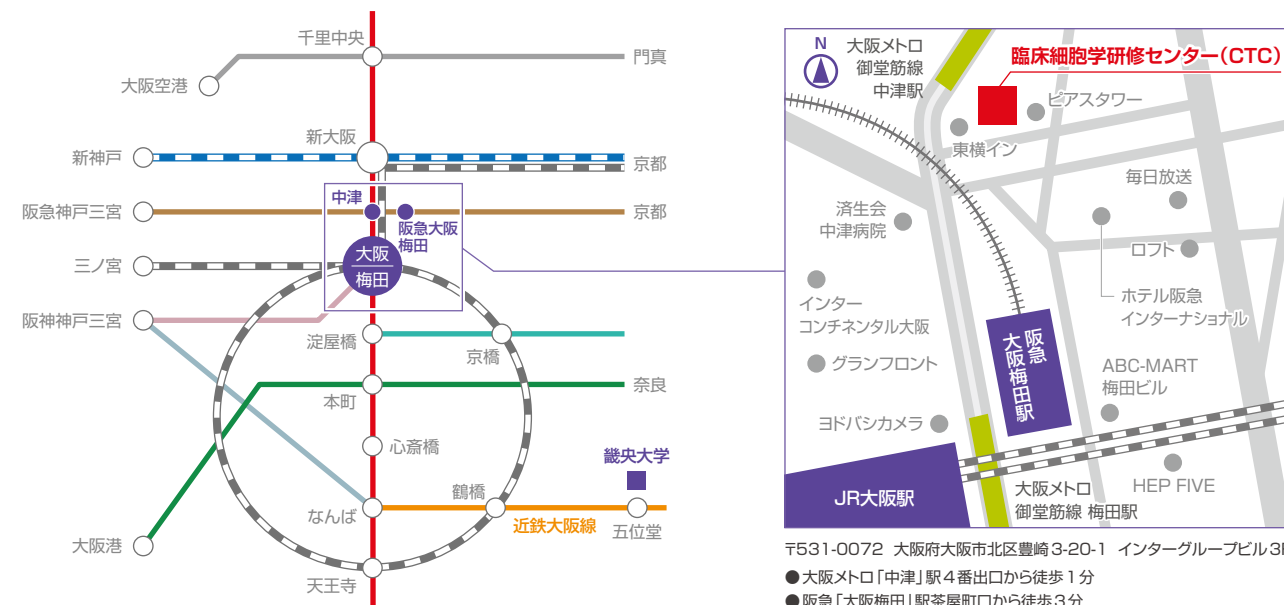
毎週土曜 社会人臨床検査技師対象
細胞検査士資格認定試験受験対策講座
●1次試験対策(8ヶ月)
●2次試験対策(10ヶ月)
5期合格者合計
1次試験…25名
2次試験…32名

隔週日曜 細胞検査士資格認定試験受験希望者対象
細胞検査士資格認定試験受験対策セミナー (分野別・選択受講可)
毎回の
確認テストで
実力チェック!

特色あるコース

畿央大学大学院健康科学研究科
(生命医科学分野)修士課程
2025年度生募集

- 細胞検査士・臨床検査技師対象
- 細胞診断学および分子病理学分野でのキャリアアップをサポート
 - 細胞検査士資格取得希望者は、土曜コース・受験対策コース同時受講で、
修士と細胞検査士のダブルライセンスが可能
 - 別科卒業生は修士課程入学金(190,000円)と同窓会費(16,000円)免除



願書請求・問合せ先

畿央大学臨床細胞学別科事務室
〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2
[TEL] 0745-54-1602 [FAX] 0745-54-1600
[URL] <https://www.kio.ac.jp/ctc/>
[MAIL] ctc@kio.ac.jp

大学院
学部
専攻科
別科

大学院 健康科学研究科／教育学研究科
健康科学部 理学療法学科／看護医療学科／健康栄養学科／
人間環境デザイン学科
教育学部 現代教育学科
専攻科 助産学専攻科
別科 臨床細胞学別科

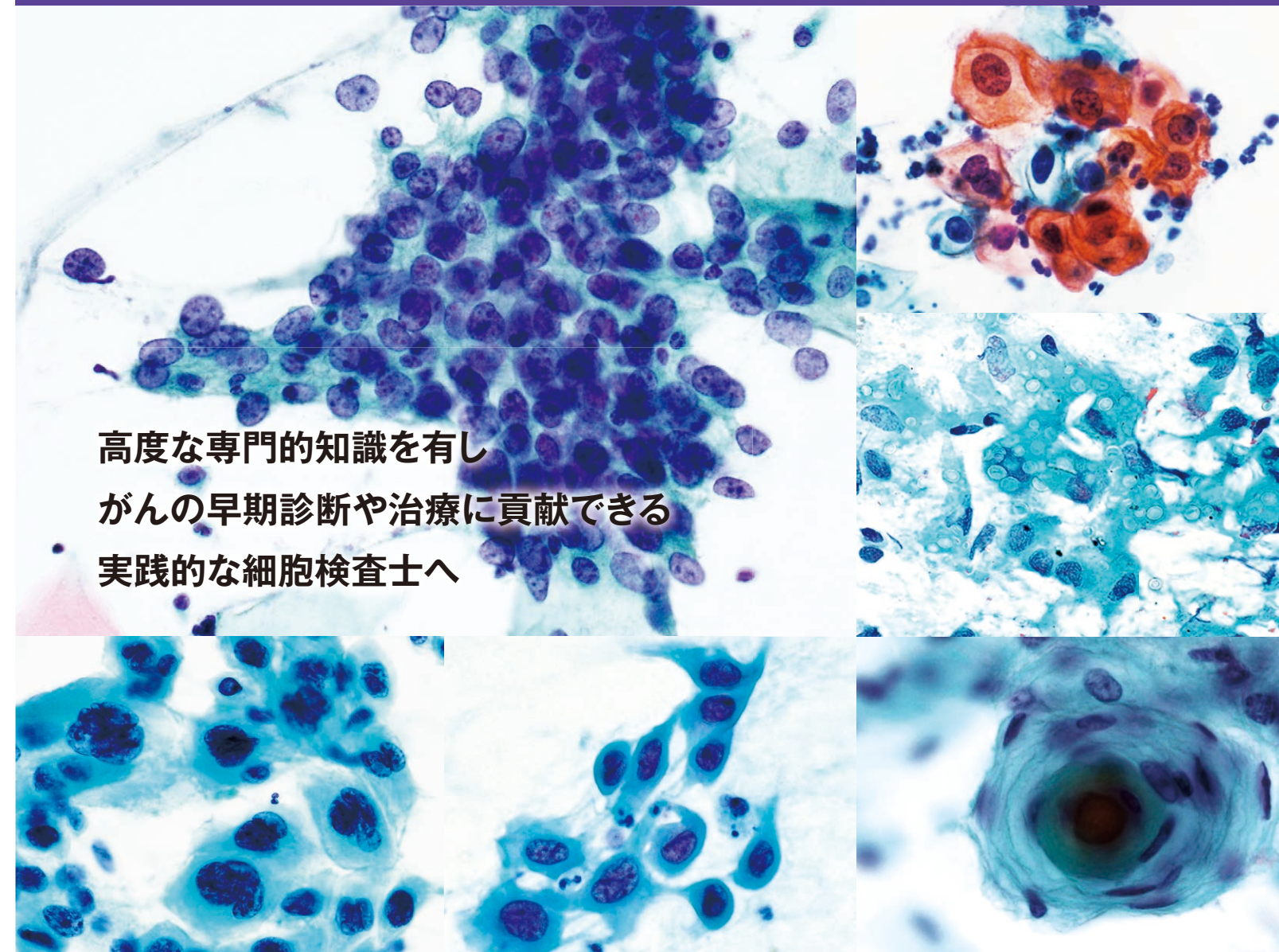


畿央大学 臨床細胞学別科

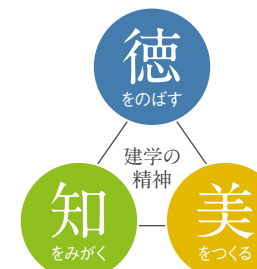
日本臨床細胞学会認定細胞検査士養成課程

入学案内・募集要項 2025

臨床細胞学研修センター細胞検査士資格認定試験対策コース



高度な専門的知識を有し
がんの早期診断や治療に貢献できる
実践的な細胞検査士へ

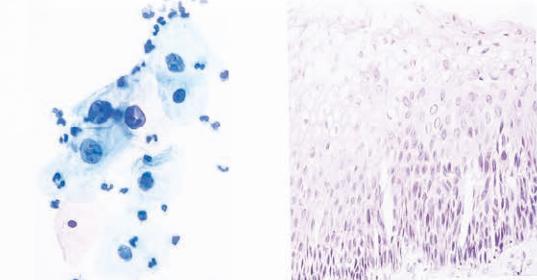


- 【徳】豊かな人間性、コミュニケーション力と
思いやりの心を身につける
【知】科学的認識に支えられた知性とたゆまぬ研究心を培う
【美】豊かな感受性を持ち創造する力を磨く
- 畿央大学は「健康」と「教育」の総合大学。建学の精神にのっとり、
豊かな人間性と研究心、そして創造性をかねそなえた細胞検査士を養成します。

取得できる資格

日本臨床細胞学会
細胞検査士資格認定試験受験資格

検診の精度を支え、がん医療の先端を担う 細胞検査士を梅田都心で養成



細胞診所見 (Pap 染色、X400)
主眼 高度型の核異常細胞やコイロ
核がみられる。核クロマチン
が濃く、軽度増量し核縁は
不整である。

組織所見 (HE 染色、X100)
上皮の下層1/3に異形成が認められる。表層
側の一部にコイロサイト(矢印)がみられ、細
胞質は種大淡明化し、軽度核異型を示す。

細胞検査士は、医療機関やがん検診センター、保健所などに勤務して、患者の臓器や組織から採取した細胞を用いて標本を作製し、異常細胞やがん細胞を顕微鏡で見つけ出すのが主たる業務です。また、蛋白レベル、遺伝子レベルで細胞の悪性度や生物学的性格を評価分析するのも細胞検査士の重要な役割です。本学は高度な専門的知識を有し、がん医療の向上に寄与できる質の高い細胞検査士を育成するため、2019年4月に、臨床細胞学別科(日本臨床細胞学会認定細胞検査士養成課程)を開設しました。国民の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで死亡する現代、がんの早期診断や治療に貢献できる実践的な細胞検査士を養成します。

教育環境

- ICTを駆使した最先端の細胞診教育拠点
- 大阪の中心に位置する最高の立地条件
- 通いやすく、学びやすい学習環境
- 関西唯一の細胞検査士卒業養成課程
- 業界最前線で活躍する豪華教授陣から学ぶ
- 細胞検査士資格認定試験100%合格を目標

教育体制

- 受講者1人に1台ずつ最高レベルの正立顕微鏡を配備
- ティーチングスコープによるマンツーマン指導
- タブレットパソコン無料貸与
- 収録授業のeラーニング教材による学びのフォロー
- 大学、基幹病院での細胞診臨地実習(夏期)

▶ **取得できる資格** 日本臨床細胞学会
細胞検査士資格認定試験受験資格

▶ **募集定員** 20名

▶ **修業年限** 1年

出願資格

日本の臨床検査技師資格または衛生検査技師資格を有する者(取得予定者も含む)で、大学または専門学校を卒業した者、もしくは2025年3月卒業見込みの者。ただし、入学時には臨床検査技師または衛生検査技師国家試験に合格していること。

▶ **想定される進路** 医療関係：大学病院、一般病院、検査センター、企業など



がんの早期診断や治療に貢献できる
実践的な細胞検査士を養成します

植田 政嗣 Masatsugu Ueda

臨床細胞学別科長(臨床細胞学研修センター長)
畿央大学健康科学部教授・学部長・大学院健康科学研究科長

細胞検査士とは、細胞診断に特化した臨床検査技師の上位資格であり、患者から採取した細胞検体を使って体の状態を調べる検査のスペシャリストです。中でも、正常な細胞の中から、がん細胞を探し出すのが、細胞検査士の重要な仕事です。近年、各種の検診および早期診断技術の発達にともない、細胞診断業務の重要性と業務量が飛躍的に増加しています。検診の精度を支え、がん医療の先端を担う細胞検査士をめざして、優秀なスタッフとともに学びましょう。

臨床細胞学別科の特徴

本学の臨床細胞学別科は、畿央大学のサテライトとして梅田都心に開設した臨床細胞学研修センター内の全日制細胞検査士養成課程です。細胞診断学の講義・実習を通じて、高度な専門的知識を有し、がん医療に貢献できる質の高い細胞検査士を育成します。また、日本臨床細胞学会が行う細胞検査士資格認定試験に全員合格をめざします。そのためには、自学自習が重要ですが、各自に無料で貸与するタブレットパソコンで、重要講義の内容をeラーニングコンテンツとして、いつでも、どこでも、何度でも視聴できます。これは畿央大学のICT学習基盤ネットワークにより実現できる最先端の教育システムです。さらに単元ごとに復習テストを行い、知識や細胞観察眼が確実なものになるよう徹底して指導します。試験合格後は、大学、基幹病院、検診センター等の病理・細胞診部門への就職活動を強力にサポートします。

重要講義の収録ビデオを
eラーニングシステムで、いつでも、
どこでも、何度でも視聴可能！



キャリアサポートと就職実績

細胞検査士資格認定試験合格者全員が病理・細胞診部門に就職

就職率

100%

就職先

【近 畿】神戸大学医学部附属病院、大阪がん循環器病予防センター、徳島大学病院、市立奈良病院、吹田徳洲会病院、大阪回生病院、大阪明徳病院、ファルコバイオシステムズ京都、兵庫県予防医学協会 他
【その他】北海道大学医学部附属病院、中部国際医療センター(岐阜)、JR東京総合病院、大原総合病院(福島)、埼玉石心会病院、同愛記念病院(東京)、相模原協同病院(神奈川)、東邦大学医療センター大森病院(東京)、広島県立病院、広島赤十字・原爆病院、PCL福岡 病理・細胞診センター 他

▶ **OB・OGボイス** 呉 美優貴さん[2020年3月修了/大阪がん循環器病予防センター勤務]

臨床検査技師として一度は就職したものの細胞診への興味を捨てきれず、働きながら細胞検査士をめざすよりも、一から論理立て、系統的に学ぶことが何よりも近道と考え、臨床細胞学別科へ入学しました。少人数制のため些細なことでも質問ができるだけでなく、ティーチングスコープによる1:1の実習、そして時間・場所を選ばず自分のペースで復習や確認を何度でもできるeラーニングは細胞診初心者にとって、これ以上なく整った学習環境でした。また、就職においても親身に一人ひとりに寄り添った手厚いサポートのおかげで不安なく、細胞検査士の試験に臨むことができました。全日制だからこその手厚さ、環境、時間で培った経験・知識は、就職したあとにも自己の研鑽や向上の糧となると思います。仕事を辞めて進学した自分の選択に悔いはなく、この臨床細胞学別科で過ごした時間は一生のうちで目まぐるしく最も濃い一年間だったと思います。



2003年の開学以来、きわめて高い就職実績を誇る畿央大学のキャリアセンターが就職活動をバックアップ。お互いの顔と名前がわかる距離で、夢の実現を支援します。



細胞検査士への道を開く1年間

OB・OG ボイス



糸山 佳吾さん
2020年3月修了
関西医療大学(大阪)出身
吹田徳洲会病院勤務

臨床検査技師の国家資格取得に向けて大学で4年間勉強をする中で病理や細胞診に興味を持ち、その分野で自分の力を生かしていきたいと考えていました。そして4回生の時、大学の先生に1年間という短い期間で細胞検査士の資格取得をめざす臨床細胞学別科を紹介され、進学を決めました。本科では一流の教授陣の先生方が学生一人ひとりの力を信じて根気強く最後まで教えてくださり、とても力になりました。さらにeラーニングシステムも気になった授業を後日“何度でもわかるまで見られる”ところが便利でした。就職に関しても希望に沿った求人情報を探してくださり、面接の練習や履歴書の書き方まで親身になってサポートしてくれました。私にとっては、国家試験の勉強だけや仕事をしながらではなく、細胞検査士の勉強だけに集中して取り組める環境がとても合っていたと思います。細胞検査士資格取得への道の選択肢の一つとして、臨床細胞学別科を強くお勧めします。



濱 知美さん
2022年3月修了
山陽女子短期大学(広島)出身
大阪回生病院勤務

短期大学で臨床検査技師の勉強をしていく中で、病理に興味を持ち、病理検査室で働きたいと思うようになりました。そのためには細胞検査士の資格を持つべきと知り、1年間で資格取得をめざせる畿央大学臨床細胞学別科に入学しようと思いました。授業では一流の先生方にとっても親身になって教えていただきました。さらに学生同士で話し合いながら知識を深めることができたと思います。特に先生方とのマンツーマンのような時間が多く、分からないことをその都度気軽に聞ける環境が、最大の魅力だと感じています。就職活動についても、就職先の相談や紹介、履歴書の添削等、さまざまなサポートをして下さいました。細胞検査士資格取得をめざすのなら、そのためだけに力を尽くせる畿央大学臨床細胞学別科をお勧めします。

年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
[入学式]						[1次試験]		[2次試験]			[修了式]
基礎講座 (講義)	応用講座 (講義と顕微鏡実習)			臨地実習	試験対策講座【前期】 (実習と試験対策)		試験対策講座【後期】 (実習と試験対策)		学外実習（希望者のみ） ※別途実習費必要		
基本的な講義を中心に細胞診の基礎的知識を習得します。		実践的な講義と実習を中心に細胞診技能の習得をします。			実践的な顕微鏡実習と一次試験対策。		実践的な顕微鏡実習と二次試験対策。		大学病院やがん拠点病院などで実地研修を行い経験を積みます。		

● 授業は平日(月～金)の9時から17時50分まで

1限 9:00～10:30 2限 10:40～12:10 3限 13:00～14:30 4限 14:40～16:10 5限 16:20～17:50

● 宿舍の設備はありません

領域・授業科目・単位数(日本臨床細胞学会認定 細胞検査士養成課程)

区分		授業科目	単位数		授業形態		一単位当たりの時間数
			必修	選択	講義演習	実験実習	
細胞学概論		細胞検査学特論I	1	—	○	—	30
		細胞検査学特論II	1	—	○	—	30
細胞診断学	婦人科	婦人科細胞診断学1	1	—	○	—	30
		婦人科細胞診断学2	1	—	○	—	30
		婦人科細胞診実習	1	—	—	○	60
	呼吸器	呼吸器細胞診断学1	1	—	○	—	30
		呼吸器細胞診断学2	1	—	○	—	30
		呼吸器細胞診実習	1	—	—	○	60
	体液体	体腔液細胞診断学	1	—	○	—	30
		体腔液細胞診実習	1	—	—	○	45
	消化器	消化器細胞診断学	1	—	○	—	30
		消化器細胞診実習	1	—	—	○	45
	乳腺	乳腺細胞診断学	1	—	○	—	30
		乳腺細胞診実習	1	—	—	○	45

区分		授業科目	単位数		授業形態		一単位当たりの時間数
			必修	選択	講義演習	実験実習	
細胞診断学	泌尿器	泌尿器細胞診断学	1	—	○	—	30
		泌尿器細胞診実習	1	—	—	○	45
	甲状腺	甲状腺細胞診断学	1	—	○	—	30
		甲状腺細胞診実習	1	—	—	○	45
	血液・リンパ節・軟部腫瘍	リンパ節細胞診断学	1	—	○	—	30
		骨・軟骨細胞診断学	1	—	○	—	30
		造血器等細胞診断学	1	—	○	—	30
		リンパ節細胞診実習	1	—	—	○	30
		骨・軟骨細胞診実習	1	—	—	○	30
		造血器等細胞診実習	1	—	—	○	30
	細胞診実習全科		2	—	—	○	45
			26				

4月～12月総授業時間 約1,000時間

合格実績(2023年度第56回細胞検査士資格認定試験)

5期生(10名)
1・2次試験全員合格！
合格率

100%

同時(1・2次)合格者	受験者	合格者	合格率
合計	714	248	34.7%
養成機関	113	93	82.3%
臨床細胞学別科(養成機関の内数)	10	10	100%
養成機関 以外	601	155	25.8%

[注釈] 注1 養成機関＝日本臨床細胞学会が認定した細胞検査士養成課程のある大学および臨床検査技師、衛生検査技師が対象の細胞検査士養成所のうち実績を公表している12校
注2 養成機関以外には、非公表の養成機関校の数字を含む

細胞検査士資格認定試験

臨床細胞学別科(2019年開設以来)1～5期 合格率100% 卒業生30名全員合格！

業界最前線で活躍する豪華教授陣



矢羽田 一信 Kazunobu Yahata [臨床細胞学別科・教務主任／臨床細胞学研修センター・教授]

本課程は、がんの早期発見と正確な診断に寄与する高水準の細胞検査士を養成することを目的としています。教育の特徴としては異常細胞の発見だけでなく、細胞採取のアシストから標本作製、検査に必要な染色法の選択、精度管理まで、実際に医療現場で役立つ細胞検査士の育成を目指して授業を進めてまいります。癌細胞の形態は臓器により異なり、良性異型細胞との鑑別には多くの経験と知識が必要です。臨床医や患者様から信頼される細胞検査士を目指してともに学びましょう。

客員教授

竹中 明美 [大阪医療センター臨床検査科] 布引 治 [神戸常盤大学医療検査学科]

矢野 恵子 [関西医療大学保健医療学部]

客員講師

日本臨床細胞学会近畿連合会所属の熟練細胞診専門医ならびに検査士多数



2025 年度 畿央大学臨床細胞学別科 学生募集要項

入試日程

入試日程	試験種別	出願期間(消印有効)	合格発表日	募集人員	第1次入学 手続締切日	第2次入学 手続締切日	試験会場	検定料
2024年 8月11日(日・祝)	公募推薦 一般	2024年7月16日(火)～ 2024年7月25日(木)	2024年 8月16日(金)	10名	2024年 8月29日(木)	2024年 9月12日(木)	臨床細胞学 研修センター	35,000円
2024年 11月4日(振替休日)	公募推薦 一般	2024年10月7日(月)～ 2024年10月17日(木)	2024年 11月8日(金)	8名	2024年 11月21日(木)	2024年 12月5日(木)		
2025年 1月26日(日)	公募推薦 一般	2025年1月6日(月)～ 2025年1月16日(木)	2025年 1月30日(木)	2名	2025年 2月13日(木)	2025年 2月27日(木)		

※出願締切日の消印有効です。

出願資格

日本の臨床検査技師資格または衛生検査技師資格を有する者(取得予定者も含む)で、次の各号のいずれかに該当する者。ただし、入学時には臨床検査技師または衛生検査技師国家試験に合格していること。

- ① 高等学校または中等教育校を卒業した者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- ③ 学校教育法施行規則第15条の規程により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- ④ 大学または専門学校を卒業した者、もしくは2025年3月に卒業見込の者

判定方法

出願書類、小論文(公募推薦)、専門科目(一般)、面接の結果を総合して判定を行います。

出願書類

- ① 志願票・写真票
必要事項をすべて記入し、入学検定料(35,000円)を振り込んで取扱銀行の収納印を確認してから送付してください。
- ② 入学資格を証明するもの
出身高校の卒業証明書を提出してください。出願資格の②～③により出願する方は、その資格に関する証明書を提出してください。
- ③ 成績証明書
臨床検査技師または衛生検査技師の資格取得に関わる学校の成績証明書を提出してください。
- ④ 履歴書
本学所定用紙を使用し、学歴等について記入してください。
- ⑤ 志望理由書
本学所定用紙を使用し、本別科を志望した理由について記入してください。
- ⑥ 推薦書(公募推薦入試の志願者のみ)
本学所定用紙に必要事項を記入し、指導教員の捺印を確認してから送付してください。

公募推薦入試出願資格は以下の①～③を満たす者

- ① 2025年3月に臨床検査技師養成校の大学または専門学校を卒業し、臨床検査技師資格を取得する見込みの者
- ② 合格した場合、必ず入学することを確約できる者(専願)
- ③ 指導教員の推薦書を得られる者

試験科目・内容・配点・時間割

集合時間▶12:50			
試験科目	内容	配点	時間
小論文	800字以内での論述	100点	13:00～13:50
専門科目 試験	病理学、解剖学、組織学を中心にした検査技師としての専門知識に関する出題	100点	13:00～13:50
面接	受験生1名に対し、面接委員が複数名の個人面接形式	段階評価	14:00～順次

ADMISSION POLICY — アドミッション・ポリシー —

高度な専門的知識を有し、がんの早期発見と正確な診断に寄与するとともに、医療全般でがん医療の向上に貢献できる細胞検査士の養成を目標としています。そのため下記のような者の入学を求めて、推薦入試と一般入試を実施します。

- ① 生命の尊厳をわきまえ、細胞診断に真摯に向き合うことができる者
- ② 細胞検査士としての実践能力の修得に強い意欲を有する者
- ③ 何事にも誠実に取り組み、責任ある行動をとることができる者
- ④ 他者と協働して学ぶことができる者

受験手続について

入学検定料の振込

- ① 志願票・写真票などと一緒にした振込依頼書(B票)に必要な事項をすべて記入し、各票を切り離さずに最寄りの銀行または「電信扱」のできる金融機関の窓口に入学金検定料を添えて提出してください。三井住友銀行・三十三銀行の本支店からの振込は手数料無料です。※銀行のATMおよびゆうちょ銀行からはお振込いただけませんのでご注意ください。
- ② 銀行収納印をA票・振込依頼書(B票)・領収書(C票)の3ヶ所に必ず受けてください。領収書(C票)は、収納印を受けた後切り離して、各自保管してください。
※書き損じ等のために銀行窓口で銀行備え付けの「振込依頼書」に書き換えを依頼されたときは、必ず「電信振込」の用紙に記入してください。その際、整理番号と受験コードを打電するよう、銀行へ依頼してください。

出願方法

本学所定の出願用封筒に出願書類を一括して封入し、簡易書留で郵送してください。出願締切日の消印有効です。

出願上の注意

- ① 身体に障がいがあり、受験上特別な配慮を必要とされる方は、出願手続以前に必ず臨床細胞学別科事務室までご相談ください。また出願後の不慮の事故や病気等により、受験上特別な配慮を必要とされる方は、早めに同事務室まで申し出てください。申し出のない志願者には対応できない場合があります。
- ② いったん受理した出願書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。また志願票に記載された事項は出願後変更できませんので、出願にあたっては十分注意してください。

受験票について

- ① 受験票は、提出された志願票をもとに大学が作成し、志願票の送付先住所(本人宛)へ速達便で郵送します。
- ② 受験票の「受験上の注意」および「合格発表」の記載事項を必ず確認してください。
- ③ 受験票が試験日の3日前になっても到着しない場合、また届いた受験票の記載事項に記入もれ、誤記などがあった場合は至急臨床細胞学別科事務室まで電話連絡をしてください。
- ④ 入学試験当日は受験票を必ず持参してください。万一、受験票を紛失したり忘れたりした場合は、試験本部または試験監督者に申し出て指示を受けてください。

個人情報の取り扱いについて

志願票に記載された氏名、住所等の個人情報は、本学における出願処理、書類不備があった場合の連絡、合格発表、書類の送付等のために使用します。

入学手続について

合格者は合格通知書に同封する入学手続要項を熟読の上、入学手続を行ってください。入学手続期間内に書類の提出および納付金の振込など所定の手続をしなかった場合は、入学の意思がないものとみなし、入学資格を取り消します。なお手続期間の延長はいかなる理由があっても一切認められません。

入学手続の内容

◆ 第1次入学手続(入学申込金の納付)

第1次入学手続締切日までに入学申込金として入学金相当額(170,000円)を金融機関で振込んでください。手続締切日の金融機関収納日付印有効です。振込依頼書は合格通知に同封します。

◆ 第2次入学手続(学納金の納付および入学手続書類の提出)

第2次入学手続締切日までに学納金(646,000円)を金融機関で振込み、入学手続書類を郵送してください。手続締切日の金融機関収納日付印および郵便消印有効です。振込依頼書および手続書類は合格通知に同封します。入学手続完了後、すでに納付されている入学申込金は入学金として取り扱います。なお第1次入学手続を完了していない場合、第2次入学手続を行うことはできません。

※第2次手続納付金は、第1次手続きの際に一括して納付することもできます。詳しくは合格者通知に同封する入学手続要項をご覧ください。

入学手続に必要な納付金

単位：円				
第1次 入学手続 (入学申込金)	第2次入学手続(2025年度学生納付金)			
	授業料	教育充実費	同窓会費	小計
170,000	420,000	210,000	16,000	646,000
入学手続に必要な金額(合計)				816,000

※第2次入学手続を完了すると2025年度学生納付金は全て納付済となります。

入学辞退による納付金一部返還制度について

一般入試の方で、入学手続時納付金を全額納付し入学手続を完了後、やむをえない理由により入学を辞退する場合は、2025年3月26日(水)17:00までに「入学辞退ならびに納付金一部返還願」を提出した方に限り、入学申込金を除く入学手続納付金を返還します。詳細は合格通知に同封する「入学手続のご案内」をご覧ください。

注意事項

偽・不正の記載または出願資格を満たさない事実が判明した場合は合格を取り消します。

その他

本学は学内外を問わず、全面禁煙を実施しています。また自動車による通学は認めておりません。